

みずほCustomer Desk Report 2018/04/05号(As of 2018/04/04)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.52
TKY 9:00AM	106.45	1.2279	130.70	1.4070	0.7682
SYD-NY High	106.85	1.2315	131.18	1.4096	0.7722
SYD-NY Low	105.99	1.2257	130.24	1.4015	0.7663
NY 5:00 PM	106.78	1.2279	131.13	1.4081	0.7715
NY DOW	24,264.30	230.94	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,042.11	100.83	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,644.69	30.24	米国2年債	2.3005	2.03bp
日経平均	21,319.55	27.26	米国5年債	2.6253	2.70bp
TOPIX	1,706.13	2.33	米国10年債	2.8073	2.75bp
シゴ日経先物	21,600	75.00	独10年債	0.4990	▲0.15bp
ロンドンFT	7,034.01	3.55	英10年債	1.3665	0.95bp
DAX	11,957.90	▲44.55	豪10年債	2.6265	3.00bp
ハンセン指数	29,518.69	▲661.41	USDJPY 1M Vol	7.53	0.03%
上海総合	3,131.11	▲5.52	USDJPY 3M Vol	7.93	0.02%
NY金	1,340.20	2.90	USDJPY 6M Vol	8.21	▲0.07%
WTI	63.37	▲0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	192.34	▲0.87	EURJPY 3M Vol	8.23	▲0.10%
ドルインデックス	90.14	▲0.06	EURJPY 6M Vol	8.58	▲0.13%

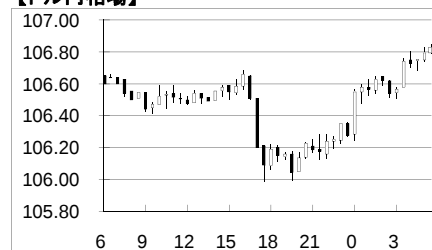
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月4日	18:00	欧	77CPI(前年比)	3月 1.0%
	21:15	米	ADP雇用統計	3月 241K
	22:45	米	ブレード・セントリス連銀総裁「政策金利は中立に接近」「長短金利、年内に逆転する可能性」	
	22:45	米	マーケットPMI(サービス業・エコノミスト)・確報	3月 54.0/54.2
	23:00	米	ISM非製造業総合景況指数	3月 58.8
	23:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	2月 3.0%
	23:00	米	耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・確報	2月 1.0%
4月5日	00:00	米	マスター・クリーブランド連銀総裁「インフレ目標政策見直しは是非、年内開始を提唱」	

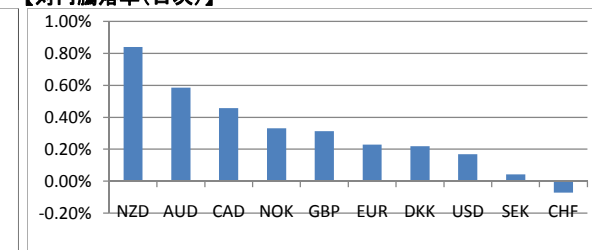
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月5日	10:30	豪	貿易収支	2月 A\$725M
	18:00	欧	PPI(前月比/前年比)	2月 0.0%/1.5%
	18:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	2月 0.5%/2.2%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 225K
	21:30	米	貿易収支	2月 -\$56.8B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50-107.00	1.2250-1.2350	130.50-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は円安が進行。アジア時間は中国が米国への報復関税措置を発表するなど、米中貿易摩擦の影響が懸念されるニュースが報じられたこともあり、米株式市場も朝方は大幅下落で開始したもの、中国の措置も発動日は米国の動向次第となっていることから、市場では冷静に受け止める見方が徐々に広まり、引けにかけて上げ幅を拡大。これに歩調を合わせドル円市場も円安が進行し、106.80程度まで上昇。引き続き米中両国の動向が注目されるが、本日から中国が清明節連休となることもあり、本日は現状の水準での落ち着いた値動きになるものと予想する。

東京	オセアニア時間に106.63まで上昇するもじりじりと値を下げ、106.45レベルで東京時間オープン。「中国商務省が米国の貿易制裁措置に対して同規模の報復を行う」と報じられ、高寄りした日経平均株価が上げ幅を縮小させる中、東京時間安値106.41をつける。その後は特段動意づく材料が出ず、106.50をはさんだ狭いレンジ推移が継続。結局106.59レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は米中貿易摩擦を懸念しリスク回避から円が買われた。106.59レベルでオープン。中国財政省が農産物を含む米製品106品目に対し25%の追加関税を課すと発表した。これを受け米中間の貿易摩擦激化に対する市場の警戒感が強まり安全通貨とされる円が買われ安値105.99を付けた。106.19レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは下落した。1.4080レベルでオープン。3月英建設業PMIは景況拡大・縮小の分かれ目となる50を下回ったが降雪が影響した季節要因との見方から発表直後の下値は限定的となった。しかし、その後はポンド売り円買いの動きにポンドドルも軟調推移し安値1.4028を付けた。1.4040レベルでニューヨークへ渡った。(西海)
ニューヨーク	ドル円は106.19レベルでNYオープン。朝方は米3月ADP雇用統計が予想を上回り、前回分も上方修正されたことから、やや買いが強まった。続いて発表の米3月ISM非製造業景気指数は新規受注や景気指数が低下したこと予想を下回ったが、軟調に寄り付いた株式市場が下げ幅を縮小させる展開に、ドル円は106.65まで戻す。午後は、NAFTA交渉が最終段階にあるとの報道や、米通商代表が「中国への関税の発効の時期は定めていない」と話したことから、株式市場がプラス圏へ切り返す展開に、高値106.85まで上昇し106.78レベルでクロスした。一方、前述の中国に関するニュースを受け、ドル売りが強まったことから海外市場で1.1315まで戻したユーロドルは、1.2289レベルでNYオープン。朝方は米3月ADP雇用統計の結果を受けたドル買いの流れに1.2271まで下落するが、米3月ISM非製造業景気指数の結果を受けてドル売りが優勢となり1.2310まで戻す。午後はドルが買い戻される展開にユーロドルは1.2274まで反落し、1.2279レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱・坂本